

青森県報

第七十七号

令和八年
六月十二日
(金曜日)

目次

告示

- 青少年の健全な育成を阻害するおそれがあると認められる図書類の指定……………(県民活躍推進課) ……一
- 救急病院の設置……………(医療業務課) ……一
- 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律による指定自立支援医療機関の指定の辞退……………(障がい福祉課) ……二
- 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律による自立支援医療機関の指定……………(同) ……二
- 身体障害者福祉法による医師の指定……………(同) ……二
- 身体障害者福祉法による指定医の指定医師届出書の提出……………(同) ……二
- 道路の区域の変更……………(道路課) ……三
- 証紙売りさばきの廃止……………(会計管理課) ……三
- 県営土地改良事業計画の決定……………(農村整備課) ……三
- 選挙管理委員会……………
- 青森県議会議員(南津軽郡選挙区補欠選挙)における選挙運動費用収支報告書の要旨……………(事務局) ……四

告

示

青森県告示第三百五十五号

青森県青少年健全育成条例(昭和五十四年十二月青森県条例第三十四号)第十二条第一項各号に該当する図書類を次のとおり指定する。

令和八年六月十二日

青森県知事 宮下 宗一郎

指定番号	種別	名 称	発行者(製作者)名	該当条項
三三七	書籍	禁欲いんぼつしぶる女学園③ ISBN九七八一四一四三四一 三六一八四一五	株式会社慧星	第十二条第一項第一号
三三七		百雌縁乱俺のアソコを狙う百人のメス④ ISBN九七八一四一七八五九一 八〇八六一三	株式会社少年画報社	第十二条第一項第一号
三三七		陰キャ彼女 ISBN九七八一四一七八五九一 七九七四一四	株式会社少年画報社	第十二条第一項第一号
三三八		総集編 叶精作 死星(シスター) マリア 最終章 ISBN九七八一四一八四五八一 七一〇三一二	株式会社リイド社	第十二条第一項第一号及び第二号
三三八		50代からの男のゴラク 2026年6月号 雑誌一八三九九一〇六	株式会社一水社	第十二条第一項第一号

青森県告示第三百五十六号

救急病院等を定める省令(昭和三十九年厚生省令第八号)第一条第一項の規定により、次のとおり救急病院を認定したので、同令第二条第一項の規定により告示する。

令和八年六月十二日

青森県知事 宮下 宗一郎

氏名	齋藤 文匡
勤務する病院等	公益財団法人 鷹揚郷腎研究所 青森県青森市大字石江一丁目一〇一の
診療科目	泌尿器科 (じん臓機能障害、ぼうこう機能障害)
指定辞退年月日	令和 八・五・二七

青森県告示第三百六十一号

道路法（昭和二十七年法律第百八十号）第十八条第一項の規定により、次のとおり

1	図面番号	道路の種類	路線名	変更に係る区間	変更の前後別	敷地の幅員	敷地の延長	備考
	国	道	三四〇号	八戸市南郷大字泥障作字猫屋敷三の三から八戸市南郷大字泥障作字猫屋敷三の三まで	後	四五・四七メートルから五九・三八メートルまで	二一・五一メートル	
					前	四五・四七メートルから五九・三八メートルまで	二一・五一メートル	

青森県告示第三百六十二号

次の青森県収入証紙の売りさばき人から令和八年五月二十九日をもって青森県収入証紙の売りさばきを廃止した旨の届出があったので、青森県証紙条例（昭和三十九年四月青森県条例第十号）第六条第五項において準用する同条第二項の規定により告示する。

令和八年六月十二日

青森県知事 宮 下 宗 一 郎

- 一 売りさばき人の住所及び氏名
三沢市桜町一丁目一之三八
三沢市職員労働組合
- 二 売りさばき場所
三沢市桜町一丁目一之三八

道路の区域を変更したので、同項の規定により公示する。
なお、その関係図面は、告示の日から令和八年七月十一日まで青森県県土整備部道路課において一般の縦覧に供する。

令和八年六月十二日

青森県知事 宮 下 宗 一 郎

公 告

県営土地改良事業計画の決定

土地改良法（昭和二十四年法律第百九十五号）第八十七条第一項の規定により、油川地区の県営土地改良事業（経営体育成基盤整備事業）計画を定めたので、同条第五項の規定により公告し、次のとおり縦覧に供する。

なお、この土地改良事業計画については、縦覧の期間満了の日の翌日から起算して十五日以内に知事に対して審査請求をすることができる。

このほか、この土地改良事業計画が定められたことを知った日の翌日から起算して六月以内に、県を被告として（知事が被告の代表者となる。）、その取消しの訴えを提起することができる。ただし、縦覧の期間満了の日の翌日から起算して十五日以内に審査請求を行った場合には、土地改良事業計画の取消しの訴えは、その審査請求に対する裁決があったことを知った日の翌日から起算して六月以内に提起しなければな

らなごうとておられる。

令和八年六月十二日

青森県知事 宮 下 宗 一 郎

一 縦覧に供する書類

土地改良事業計画書の写し

二 縦覧の期間

令和八年六月十三日から同年七月二日まで

三 縦覧の場所

青森県庁農村整備課ウェブページ

選挙管理委員会

青森県選挙管理委員会告示第五十四号

公職選挙法（昭和二十五年法律第百号）第百九十二条第一項の規定により、令和八年四月十二日執行の青森県議会議員南津軽郡選挙区補欠選挙における公職の候補者の選挙運動に関する収支報告書の要旨を次のとおり公表する。

令和八年六月十二日

青森県選挙管理委員会委員長 鶴 岡 真 治

公職の候補者の選挙運動に関する収支報告書要旨

- 1 選挙の種類 令和8年4月12日執行 青森県議会議員南津軽郡選挙区補欠選挙
- 2 公職選挙法の規定による選挙運動に関する支出の金額の制限額（法定選挙運動費用額） 5,419,600円

3 報告書の要旨			期 間
候補者氏名	鈴木 和久	所属党派	無所属
出納責任者氏名	清藤 広次	期 間	令和8年 3月23日から 令和8年 4月11日まで 第1回分

収 入		支 出	
主たる寄附 (氏名・団体名)	(寄附額) 円	人件費	135,000
岡田 輝子	30,000	家賃費	0
		選挙事務所費	0
		集合会場費	0
		通信費	0
		交通費	0
		印刷費	518,080
		広告費	0
		文具費	0
		食料費	0
		宿泊費	0
		雑 費	0
その他の寄附	0		
その他の収入	105,000	今回計	653,080
今回計	135,000	前回計	0
前回計	0	総 計	653,080
総 計	135,000		

項 目	金 額
選挙運動用通常票書の作成	134,080円
ビラの作成	384,000円
ポスターの作成	
選挙事務所の立札及び看板の類の作成	
選挙運動用自動車等の立札及び看板の類の作成	
個人演説会の立札及び看板の類の作成	
収見放送のための録画等	
計	518,080円

報告書受理年月日 令和8年 4月20日 第1回報告分

県営油川地区土地改良事業計画書

(経 営 体 育 成 基 盤 整 備 事 業)

青 森 県

目

次

第 1 章	目 的	1
第 2 章	地 域 及 び 地 積	1
第 1 節	地 域	1
第 2 節	地 積	1
第 3 章	現 況	2
第 1 節	気 象	2
1.	一 般 気 象	2
2.	特 殊 気 象	2
第 2 節	土 地 状 況	3
1.	地 形、土 壤 及 び 浸 食 の 程 度	3
2.	土 地 利 用 の 状 況	4
3.	土 地 所 有 の 状 況	4
第 3 節	水 利 状 況	4
1.	用 水 状 況	4
2.	排 水 状 況	7
3.	河 川 状 況	7
4.	想 定 被 害 状 況	7
第 4 節	道 路 現 況	9
1.	道 路 概 況	9
2.	主 要 道 路 一 覧 表	9
第 5 節	地 域 農 業 の 概 況	10
1.	産 業 別 就 業 人 口	10
2.	経 営 耕 地 広 狭 別 農 家 数 及 び 専 兼 業 別 農 家 数	10
3.	動 力 農 機 具 及 び 主 要 家 畜 頭 数	10
4.	主 要 作 物 作 付 状 況	11
5.	農 業 の 動 向	12
第 6 節	地 域 環 境 の 概 況	12
第 4 章	一 般 計 画	13
第 1 節	事 業 計 画 の 要 旨	13
1.	要 旨	13
2.	事 業 別 面 積	13

第 2 節	営 農 計 画 及 び 土 地 利 用 計 画	13
1.	営 農 計 画 の 概 要	13
2.	土 地 利 用 区 分	13
3.	作 付 方 式	14
4.	生 産 計 画	15
5.	労 働 改 善 計 画	16
第 3 節	用 水 計 画	17
1.	計 画 基 準 年	17
2.	計 画 かん がい 方 式	17
3.	計 画 用 水 系 統	17
4.	計 画 用 水 量	17
5.	水 源 計 画	19
第 4 節	排 水 計 画	20
1.	計 画 基 準 雨 量	20
2.	計 画 排 水 方 式	20
3.	計 画 排 水 系 統	20
4.	計 画 排 水 量	20
5.	排 水 対 策	20
6.	た ん 水 検 討	20
第 5 節	道 路 計 画	22
1.	道 路	22
2.	路 線 配 置 図	22
第 6 節	洪 水 調 節 計 画	23
1.	計 画 基 準 雨 量	23
2.	計 画 洪 水 量 及 び 調 節 量	23
3.	貯 水 池	23
4.	洪 水 調 節 検 討	23
5.	管 理 計 画	23
第 7 節	農 用 地 整 備 計 画	24
1.	区 画 整 理	24
2.	暗 渠 排 水	24

3.	客	土	25	第 6 章	附 帯 工 事 計 画	29	
4.	農	地	25	第 7 章	工 事 の 着 手 及 び 完 了 の 予 定 時 期	29	
第 8 節	老 朽 た め 池 改 修 計 画		25	第 8 章	環 境 と の 調 和 へ の 配 慮	29	
1.	洪 水 吐 改 修 計 画		25	第 9 章	換 地 計 画 の 概 要	30	
2.	堤 体 補 強 計 画		25	第 1 節	換 地 計 画 を 作 成 す る 上 で の 基 本 的 な 考 え 方	30	
3.	取 水 施 設 改 修 計 画		25	第 2 節	換 地 区 の 設 定	30	
第 5 章	主 要 工 事 計 画		27	1.	換 地 区 の 名 称 ・ 所 在 ・ 面 積	30	
第 1 節	用 水 施 設		27	2.	換 地 区 を 設 定 す る 理 由	30	
1.	貯	水	池	27	第 3 節	換 地 計 画 樹 立 の 基 本 方 針	30
2.	頭	首	工	27	1.	従 前 の 土 地 の 地 積 の 基 準	30
3.	揚	水	機	27	2.	用 途 別 予 定 地 積	31
4.	用	水	路	27	3.	農 用 地 集 団 化 の 方 針	31
第 2 節	排 水 施 設		27	4.	非 農 用 地 換 地 の 方 法	31	
1.	排	水	水 門	27	第 4 節	土 地 の 評 価 及 び 清 算 の 方 法	32
2.	排	水	機	27	1.	評 価 の 方 法	32
3.	排	水	路	27	2.	清 算 の 方 法	32
4.	そ の 他 排 水 施 設		27	第 5 節	換 地 計 画 樹 立 の 年 度 計 画	32	
第 3 節	道	路		27	第 6 節	換 地 処 分 の 時 期 に 関 す る 特 則	32
1.	道 路 の 総 括 表		27	第 1 0 章	事 業 費 の 総 額 及 び 内 訳	33	
2.	道 路 主 要 構 造 物		27	第 1 1 章	効	用	33
第 4 節	洪 水 調 節 施 設		27	第 1 2 章	関 連 す る 事 業	34	
1.	貯	水	池	27	第 1 3 章	現 況 ・ 計 画 図 面	34
2.	頭 首 工 及 び 導 水 路		27				
第 5 節	農 用 地 整 備 施 設		28				
1.	区 画 整 理		28				
2.	暗 渠 排 水		29				
3.	客	土	29				
4.	除	礫	29				
5.	農	地	保 全	29			
第 6 節	老 朽 た め 池 改 修 施 設		29				
1.	貯	水	池	29			
2.	堤 体 補 強 施 設		29				

第 1 章 目 的

本地区は、青森県青森市に位置し、二級河川新城川左岸に展開する農業地帯であり、水稻を中心とした営農が行われている。

地区内では、ほ場が未整備であり、農道も狭小で一部にしかないことにより作業効率が低く、水路も用排兼用の土水路で維持管理に多大な労力を要しているほか、農業従事者の高齢化や後継者不足といった課題にも直面している。

このため、本事業により区画整理による大区画化や農道、用排水路を整備することで生産性の高い優良農地を確保するとともに、農業の生産性の向上を図り、本地域の豊かで競争力ある農業の実現に資するものである。

第 2 章 地域及び地積

第 1 節 地 域

(第1表)

地 域
青森市

第 2 節 地 積

(令和7年3月現在) (第2表)

現況地目 市町村名	田 (ha)	畑 (ha)	原 野 (ha)	山 林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
青 森 市	47.3	-	0.2	-	7.0	54.6	土地登記簿面積 ※その他は道水路、雑種地、水道用地 ※四捨五入により総数と内訳の合計は一致しない

第 3 章 現 況

第 1 節 気 象

1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	青森地方気象台	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備 考
観測期間	平成27年～令和6年	5月～9月	10月～4月		
平均気温 (°C)		20.3	5.2	11.5	
降水量	平均 (mm)	558	815	1,373	
	基準年 (mm)	351	1,083	1,434	基準年 平成16年
降水日数	平均 (日)	44	113	157	
	基準年 (日)	36	139	175	基準年 平成16年
根雪期間		12月15日～3月11日		88 日間	
無霜期間		5月5日～10月25日		175 日間	
最多風向		SW	最大風速 (風向)	19m/s (SW)	最多風向発生時期 3月～12月 最大風速発生年月日 令和3年1月7日

2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所名 青森地方気象台	第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位			備考
	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
観測期間 昭和1年～令和5年																
最大日雨量 (mm)	208	H19.11.12	1/121	188	S10.8.22	1/80	153	S52.8.5	1/30	146	R4.8.9	1/25	140	H11.10.28	1/21	
最大時間雨量 (mm)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
最大4時間雨量 (mm)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
最大連続雨量 (mm)	342	S10.8.21 ～S10.8.26	1/75	333	S21.11.27 ～S21.12.31	1/63	297	H19.11.11 ～H19.11.24	1/31	296	R4.8.9 ～R4.8.12	1/30	293	S22.11.22 ～S22.12.25	1/29	
最大連続干天日数(日)	52	S3.7.17 ～S3.9.6	1/480	41	S18.6.19 ～S18.7.29	1/54	38	S54.5.1 ～S54.6.7	1/31	36	S21.7.18 ～S21.8.22	1/21	36	S48.6.24 ～S48.7.29	1/21	

第 2 節 土地状況

1. 地形、土壌及び浸食の程度

(第4表-1-1)

地 目	田						畑						受益地標高(m)		備 考
	1/1,000 未満	1/1,000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11.5 ～ 以上	計	3° 未満	3° ～ 8°	8° ～ 15°	15° ～ 20°	20° ～ 以上	計	最 高	最 低	
傾斜区分															
面積 (ha)	-	47.3	-	-	-	47.3	-	-	-	-	-	-	5.3	2.5	
比率 (%)	-	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-			

(第4表-1-2)

項 目 土壌統 (区) 名	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表							面 積 (ha)	備 考
	土 壤 断 面								
	色	腐 植	礫 層	土 性			泥炭層黒泥層及 びグライ層		
				表 土	下 層 土				
一 層				二 層	三 層				
灰褐色土壌壤土型	10Y3/1・表土 7.5GY3/1・下層土	あり・表土 含む・下層土	なし	Lic	Lic	SL	黒泥層	15.0	水田 D30
強グライ土壌砂土還元型	10YR2/2・表土 7.5Y4/2・下層土	あり・表土 含む・下層土	なし	L	S	—	泥炭なし 作土直下グライ層	7.0	水田 D36
強グライ土壌強粘土還元型	10Y3/1・表土 7.5GY3/1・下層土	あり・表土 含む・下層土	なし	Lic	Lic	SL	黒泥層	25.3	水田 E43
計								47.3	

2. 土地利用の状況

(令和7年3月現在) (第4表-2)

土地利用別 市町村名	耕 地							原 野	山 林	そ の 他	計	備 考
	水 田 (ha)	畑										
		普 通 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	牧 草 地 (ha)	茶 園 (ha)	そ の 他 (ha)	小 計 (ha)					
青 森 市	47.3	-	-	-	-	-	-	0.2	-	7.0	54.6	土地登記簿面積 その他は道水路、雑種地、水道用地

3. 土地所有の状況

(令和7年3月現在) (第4表-3)

区 分	所 有 別	個 人 有	共 有	国 有	県 有	市 町 村 有	計	備 考
面 積 (ha)		45.9	2.0	0.1	-	6.6	54.6	
受 益 者 数 (人)		93	6 (1)	-	-	-	98	() の数は、個人有と重複する 受益者数である。
筆 数 (筆)		312	15	5	-	167	499	

第 3 節 水利状況

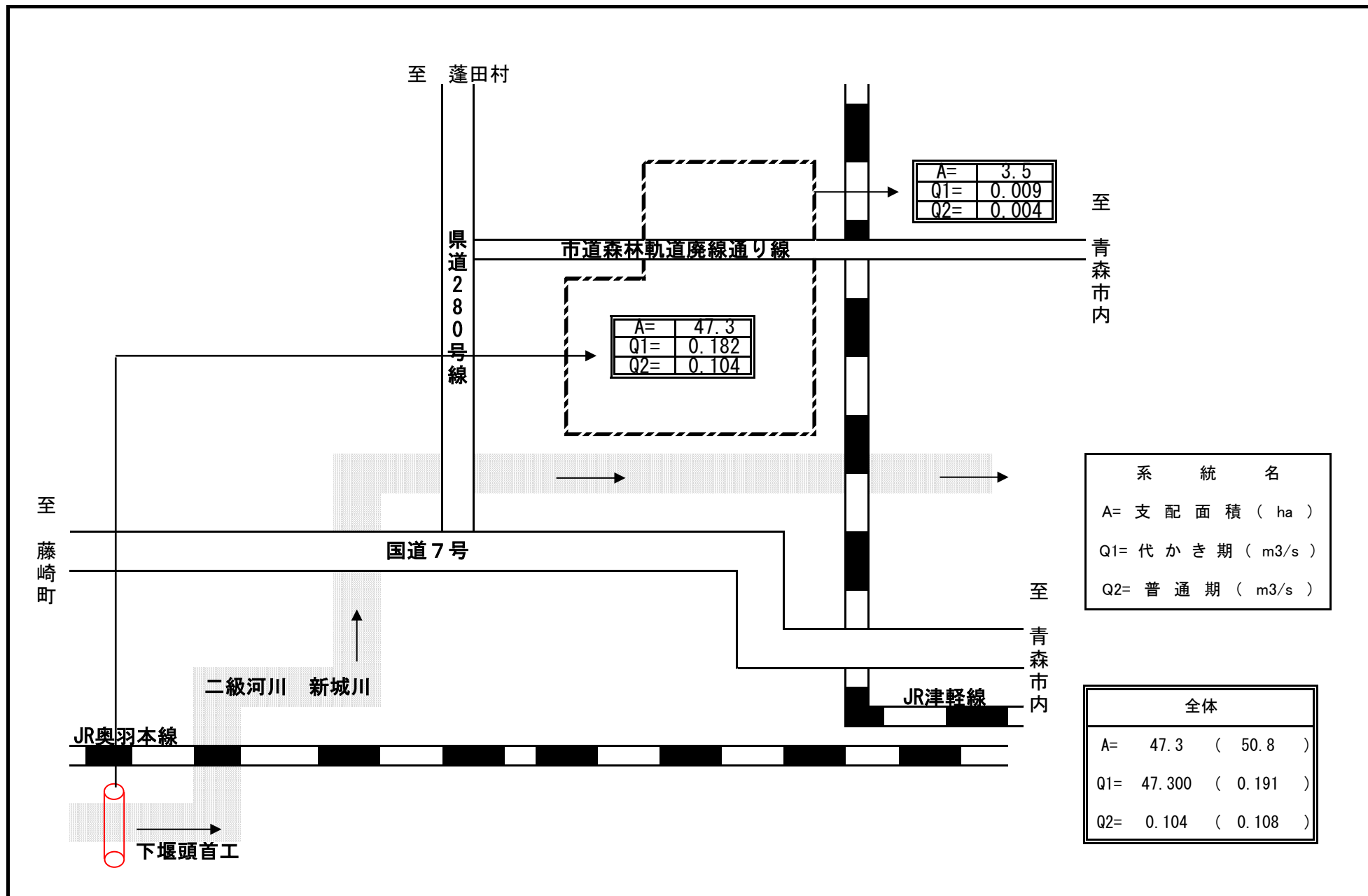
1. 用水状況

本地区の用水は、二級河川新城川水系新城川を水源としている。また、地区内の水路は用排兼用の土水路で、水管理及び維持管理に多大な労力を費やしている。

(1) 用水系統

現況用水系統模式図 (P.5 参照)

現況用水系統模式図



(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

項目 施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		延べ取水量	備考
	500ha 以上		500~100ha		100ha 未満		箇所	ha	箇所	m ³ /s	箇所	m ³ /s	m ³ /s	
	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha								
貯水池	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
井堰	—	—	—	—	1	47.3	1	47.3	—	—	1	0.358	0.358	下堰頭首工(慣行)
自然取水口	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
揚水機	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
計	—	—	—	—	1	47.3	1	47.3					0.358	

(イ) 改修を要する施設一覧表

該当なし

(3) 用水に関する被害状況

(ア) 用水不足による被害状況

該当なし

(イ) その他の被害状況

該当なし

2. 排水状況

本地区の排水は、二級河川新城川水系新城川及び既設排水路に直接排水されている。地区内の排水路のほとんどが用排兼用の土水路であり維持管理に多大な労力を費やしている。

(1) 排水系統

現況排水系統模式図 (P.8 参照)

(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

施設名	項目	排水面積						計		排水慣行 (m ³ /s)	現況排水能力 (m ³ /s)	備考
		500ha 以上		500 ~100ha		100ha 未満		箇所	ha			
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha					
自然	排水路	—	—	—	—	3	54.8 (54.8)	3	54.8 (54.8)	9.098	9.098	
	水門	—	—	—	—	—	(—)	—	(—)	—	—	
機械	排水機	—	—	—	—	—	(—)	—	(—)	—	—	
	水門及び排水機	—	—	—	—	—	(—)	—	(—)	—	—	
	排水路及び排水機	—	—	—	—	—	(—)	—	(—)			
計		—	—	—	—	3	54.8 (54.8)	3	54.8 (54.8)	9.098	9.098	()は地区外含む

(イ) 改修を要する施設の一覧表

該当なし

(3) 排水に関する被害状況

該当なし

3. 河川状況

(1) 河川状況

該当なし

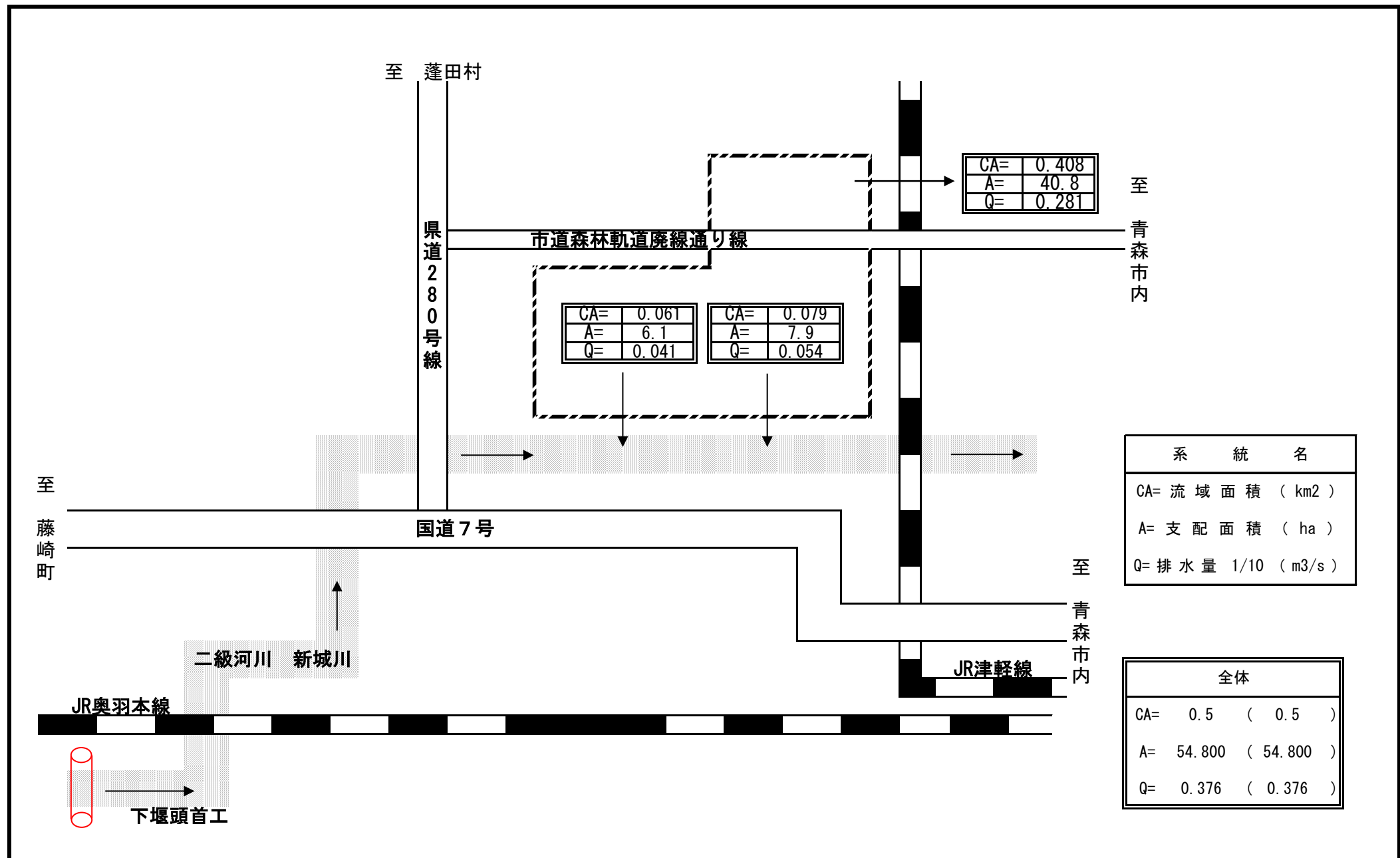
(2) 洪水に関する被害状況

該当なし

4. 想定被害状況

該当なし

現況排水系統模式図



第 4 節 道路現況

1. 道路概況



2. 主要道路一覧表

No.	路線名	管 理 区 分 別	延 長 (m)	幅 員 (m)		構 造	改 修 の 要 否	備 考
				全 幅	有 効 幅 員			
①	国 道 2 8 0 号	国	2,975	6.0	5.0	アスファルト舗装	否	
②	市道森林軌道廃止通り線	市	2,101	6.0	5.0	アスファルト舗装	否	
③	市道油川新城線	市	1,593	6.0	5.0	アスファルト舗装	否	
④	市道新城岡町線	市	822	6.0	5.0	アスファルト舗装	否	

4. 主要作物作付状況

農林水産省HP>統計情報>農業生産に関する統計>作物統計>面積調査>市町村別データ>令和5年(e-Stat)>耕地面積>青森県

(第7表-4)

市 町 村 名		青 森 市		作 付 率 (%)	備 考	
総 耕 地 面 積 (ha)		8,350				
区 分		作 付 面 積 (ha)	単 位 面 積 当 たり 収 量 (kg/10a)			
作 物 名						
水田	表作	水 稻	3,320	604	67.6	本地面積全体 8,090 ha
	裏作		-	-	-	
	小 計		3,320		67.6	
畑	春	小 麦	18	128	0.6	田 4,910 ha 畑 3,180 ha (畑の中に、樹園地及び牧草地を含む)
		大 豆	13	154	0.4	
	夏	そ ば	285	15	9.0	
		そ の 他 作 物	4,454	-	140.1	
	作		-	-	-	
			-	-	-	
			-	-	-	
		小 計	4,770		150.0	
果樹園	その他果樹		-	-	-	
			-	-	-	
	小計		-	-	-	
計		8,090		100.0		
市町村別延作付率 (%)		100.0				

5. 農業の動向

2020年世界農林業センサス II 農業経営体、V 販売農家、H22・H27・R2農産物統計 (第7表-5)

項目 区分	農 家			土 地			主 要 作 物			大 家 畜			動 力 農 機 具			地 域 指 定 等	備 考
		B	A		B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A	農機具名	B	A		
変 化 の 状 況 (C年を100とする指数)	総農家数	74	55	耕地	90	85	水 稻	97	95	乳用牛	44	0	トラクター	73	-	特別豪雪地帯 昭和48年	A: 令和2年
	専業農家数	97	-	田	92	90	小 麦	-	-	肉用牛	0	x	コンバイン	75	-		(2020年世界農林業センサス)
	第一種兼業農家数	63	-	畑	63	57	大 豆	29	43	豚	x	x	動力田植機	69	-		B: 平成27年
	第二種兼業農家数	66	-	樹園地	85	74	その他作物	100	98				乗用型スピードスプレイヤー	-	-		(2015年世界農林業センサス)
	農業従事者数	69	47	草地	170	98											C: 平成22年
変 化 の 理 由	農家数及び農業従事者の減少は他産業への流出による。			耕地の減少は農地転用等による。			水稲の減少は転作奨励による。						本項目は、令和2年度農林業センサスより調査項目対象外となった為、データ無し。			(2010年世界農林業センサス)	

x:各集計区分(農林業経営体、農業経営体、林業経営体、総農家数、林家数)の調査対象数が2経営体(戸)以下の場合、秘密保護の観点から、調査対象数を除く全ての調査結果を「x」表示とした。
(農林水産省HP 2020年農林業センサス 利用者のために P24より抜粋)

第 6 節 地域環境の概況

本地区及び周辺において保護指定等に係る特に配慮すべき動植物は確認されていない。

第 4 章 一般計画

第 1 節 事業計画の要旨

1. 要 旨

ほ場の大区画化、農業用排水路、農道等の農業生産基盤整備を行うことにより、農作業の効率化、生産コストの低減、維持管理費の節減及び高収益作物の導入を図り、これと併せて担い手への農地集積を促進することで、農業競争力の強化を図る。

事業の実施に当たっては、工事中、貴重な動植物を発見した場合は、近くに移動又は移植し保護する。

2. 事業別面積

(第8表)

土地利用区分 事業目的	水田 (ha)	畑					計 (ha)	備 考
		普通畑 (ha)	果樹園 (ha)	牧草畑 (ha)	茶園 (ha)	その他 (ha)		
区画整理	44.9	0.5	—	—	—	—	45.4	
計	44.9	0.5	—	—	—	—	45.4	

第 2 節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

本事業の実施により、水稻に野菜を組み合わせた複合経営方式による農業経営の安定化を図る。また、担い手への農地の集積・集約化を促進し、機械の大型化により作業効率を向上させ、高効率で生産性の高い農業経営を確立する。

2. 土地利用区分

(第9表-1)

土地利用区分	水田 (ha)	畑					小計 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
		普通畑 (ha)	果樹園 (ha)	牧草地 (ha)	茶園 (ha)	その他 (ha)						
現 況	47.3	—	—	—	—	—	47.3	0.2	—	7.0	54.6	その他：道水路、雑種地、水道用地
計 画	44.9	0.5	—	—	—	—	45.4	—	—	9.2	54.6	その他：道水路、雑種地

3. 作付方式

(第9表-2)

項目	経営 類型	土地 利用 区分	1 年 目												2 年 目												3 年 目												備 考											
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12												
			1 年 目												2 年 目												3 年 目																							
現 況	水稲 + 野菜	田				水稲												水稲												水稲												水稲								
						飼料用米												飼料用米												飼料用米												飼料用米								
						酒造好適米												酒造好適米												酒造好適米												酒造好適米								
						輸出用米												輸出用米												輸出用米												輸出用米								
						キャベツ												キャベツ												キャベツ																				
									レタス												レタス												レタス																	
						ブロッコリー											ブロッコリー											ブロッコリー																						
		畑				トマト											トマト											トマト																						
計 画	水稲 + 野菜	田				水稲												水稲												水稲												水稲								
						飼料用米												飼料用米												飼料用米												飼料用米								
						酒造好適米												酒造好適米												酒造好適米												酒造好適米								
						輸出用米												輸出用米												輸出用米												輸出用米								
						キャベツ											キャベツ												キャベツ																					
									レタス												レタス												レタス																	
						ブロッコリー											ブロッコリー											ブロッコリー																						
		畑				トマト											トマト											トマト																						

4. 生産計画

(第9表-3)

土地利用区分	項目	作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当たり収量 (kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量増減の内訳 (t)		備考	
			現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当たり収量増加		
水田	表作	水稲	23.6	23.4	△0.2	97.2%	52.6%	611	611	-	144	143	△1	△0.2	△1	作付減	
			-	(23.4)	-	-	-	611	648	37	144	152	8	-	8	乾田化	
			-	(23.4)	-	-	-	611	623	12	144	146	2	-	2	水管理改良	
		飼料用米	0.1	6.9	6.8	0.4%	15.5%	611	611	-	1	42	41	6.8	41	作付増	
			-	(6.9)	-	-	-	611	648	37	1	45	44	-	44	乾田化	
			-	(6.9)	-	-	-	611	623	12	1	43	42	-	42	水管理改良	
		酒造好適米	0.1	8.7	8.6	0.4%	19.6%	611	611	-	1	53	52	8.6	52	作付増	
			-	(8.7)	-	-	-	611	648	37	1	56	55	-	55	乾田化	
			-	(8.7)	-	-	-	611	623	12	1	54	53	-	53	水管理改良	
		輸出用米	0.1	3.5	3.4	0.4%	7.9%	611	611	-	1	21	20	3.4	20	作付増	
			-	(3.5)	-	-	-	611	648	37	1	23	22	-	22	乾田化	
			-	(3.5)	-	-	-	611	623	12	1	22	21	-	21	水管理改良	
		キャベツ	0.1	0.5	0.4	0.4%	1.1%	3,290	3,290	-	3	16	13	0.4	13	作付増	
			-	(0.5)	-	-	-	3,290	3,849	559	3	19	16	-	16	乾田化	
			-	(0.5)	-	-	-	3,290	3,784	494	3	19	16	-	16	田畑輪換	
			-	(0.5)	-	-	-	-	-	-	0	0	-	-	-	-	湿潤かんがい
			0.1	0.5	0.4	0.4%	1.1%	1,976	1,976	-	2	10	8	0.4	8	作付増	
			-	(0.5)	-	-	-	1,976	2,589	613	2	13	11	-	11	乾田化	
		レタス	-	(0.5)	-	-	-	1,976	2,272	296	2	11	9	-	9	田畑輪換	
			-	(0.5)	-	-	-	-	-	-	0	0	-	-	-	-	湿潤かんがい
			0.1	0.5	0.4	0.4%	1.1%	633	633	-	1	3	2	0.4	2	作付増	
			-	(0.5)	-	-	-	633	734	101	1	4	3	-	3	乾田化	
		ブロッコリー	-	(0.5)	-	-	-	633	728	95	1	4	3	-	3	田畑輪換	
			-	(0.5)	-	-	-	-	-	-	0	0	-	-	-	-	湿潤かんがい
			0.1	0.0	△0.1	0.4%	0.0%	4,282	5,181	899	4	0	△4	△0.1	△4	作付増	
		トマト	-	(0.0)	-	-	-	4,282	5,181	899	4	0	△4	-	△4	乾田化	
			-	(0.0)	-	-	-	-	-	-	0	0	-	-	-	-	湿潤かんがい
-	0.5		0.5	0.0%	1.1%	4,282	5,181	899	-	26	26	0.5	26	作付増			
畑普通	トマト	-	(0.5)	-	-	-	4,282	5,181	899	-	26	26	-	26	乾畑化		
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
果樹園	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
牧草地	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
茶園	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
合計			24.3	44.5	20.2	100.0%	100.0%								面積は本地面積		

5. 労働改善計画

(第9表-4)

項目 土地 利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当労働投下量 (hr/10a)				備考
			区分	現況	計画	増減	
水田	水稲	23.4	人力	27.6	28.0	0.4	営農規模 0.5ha以上 1.0ha未満 → 担い手営農 (集積)
			機械力	8.1	5.8	△2.3	
	計	23.4					
	飼料用米	6.9	人力	29.4	28.0	△1.4	営農規模 0.5ha未満 → 担い手営農 (集積)
			機械力	12.9	5.8	△7.1	
	計	6.9					
	酒造好適米	8.7	人力	29.4	25.6	△3.8	営農規模 0.5ha未満 → 担い手営農 (集積)
			機械力	12.9	5.8	△7.1	
	計	8.7					
	輸出用米	3.5	人力	27.6	28.0	0.4	営農規模 0.5ha未満 → 担い手営農 (集積)
			機械力	8.1	5.8	△2.3	
	計	3.5					
	ブロッコリー	0.5	人力	87.4	78.7	△8.7	営農規模 0.2ha → 営農規模 0.5ha
			機械力	11.4	11.8	0.4	
	計	0.5					
	トマト	0.5	人力	1,025.6	988.6	△37.0	営農規模 0.1ha → 営農規模 0.2ha
機械力			45.9	13.6	△32.3		
計	0.5						
合計		43.5				面積は本地面積	

第 3 節 用水計画

1. 計画基準年

平成16年

2. 計画かんがい方式

水 田 水 稻 湛水かんがい方式 かんがい期間 5月10日 ~ 9月10日 (代かき期間 5月10日 ~ 5月20日)

3. 計画用水系統

計画用水系統模式図 (P. 18 参照)

4. 計画用水量

(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

項目 系統名	種 別	面 積 (ha)	水田かんがい		面 積 (ha)	水 田 畑 利 用			畑 地 かん がい			そ の 他		消 費 水 量 (m ³ /s)	損 失 率 (%)	粗用水量		備 考	
			普通期	代かき期		一 日 平 均 かん 水 深 (mm/日)	一 日 平 均 間 断 日 数 (日)	一 日 平 均 かん 水 深 (mm/日)	一 日 平 均 間 断 日 数 (日)	計 画 平 均 水 量 (mm/日)	面 積 (ha)	平 均 (m ³ /s)	最 大 (m ³ /s)						
			計 画 平 均 水 量 (mm/日)	計 画 平 均 水 量 (mm/日)															
下堰頭首工	農業用水	44.9	19.7	140.0	44.9	5	5	0.0	-	-	-	-	-	代 0.173 普 0.122	15	0.144	0.203	地区内のみ	
計		44.9			44.9			0.0			-		-						

(2) 営農飲雑用水 該当なし

5. 水源計画

(1) 水利用計画

(第10表-2)

項目 区分	消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	現況利用可能水量			不足水量		水源依存量		水源工種	備考
	a	b	c = a - b	d = c / (1 - α)	水源名	取水地点 利用可能量	ほ場利用 可能量	純不足 水量	全不足 水量	水源名	水 量		
	(千m ³)	(千m ³)	(千m ³)	(千m ³)		e (千m ³)	f (千m ³)	g = c - f (千m ³)	h = d - e (千m ³)		(千m ³)		
既水田補水	3,803	-	3,803	4,474	新城川	4,474	3,803	-	-	-	-	既設用水路	α=15%
計	3,803	-	3,803	4,474		4,474	3,803	-	-		-		

(2) 用水対策

(ア) 貯水池 該当なし

(イ) 井堰及び自然取水口 該当なし

(ウ) 揚水機 該当なし

(エ) 用水路

(第10表-6)

項目 名称	かんがい面積 (ha)	最大通水量 (m ³ /s)	延長 (m)	構造	備考
支線用水路	11.7~21.0	0.119	821	コンクリート直壁型	
小用水路	0.5~12.0	0.091	5,708	コンクリート直壁型	かんがい面積及び最大通水量は支線用水路に含まれる
計	66.6		6,529		

(オ) その他の水源施設 該当なし

(3) 水温水質 該当なし

第 4 節 排水計画

- 1. 計画基準雨量 日雨量 114.1mm (1/10確率雨量)
- 2. 計画排水方式 排水方式：自然排水 許容湛水：なし
- 3. 計画排水系統 計画排水系統模式図 (P. 21 参照)
- 4. 計画排水量

(第 11 表 - 1)

項目 排水系統名	受益面積 (ha)	流域面積 (km ²)		基準 雨量 (mm)	降雨による直接単 位流出量(m ³ /s/km ²)		基底流出量 (m ³ /s/km ²)		全排水量 (m ³ /s)			単位排水量 (m ³ /s/km ²)		備考
		山地	平地		山地	平地	山地	平地	山地	平地		山地	平地	
										自然排水	機械排水			
新城川①	9.8	-	0.098	114.1	-	0.745	-	-	-	0.073	-	-	0.745	
新城川②	13.8	-	0.138	114.1	-	0.746	-	-	-	0.103	-	-	0.746	
既設排水路	31.2	-	0.312	114.1	-	0.814	-	-	-	0.254	-	-	0.814	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
計	54.8	-	0.548						-	0.430				

5. 排水対策

- (1) 排水水門 該当なし
- (2) 排水機 該当なし
- (3) 排水路

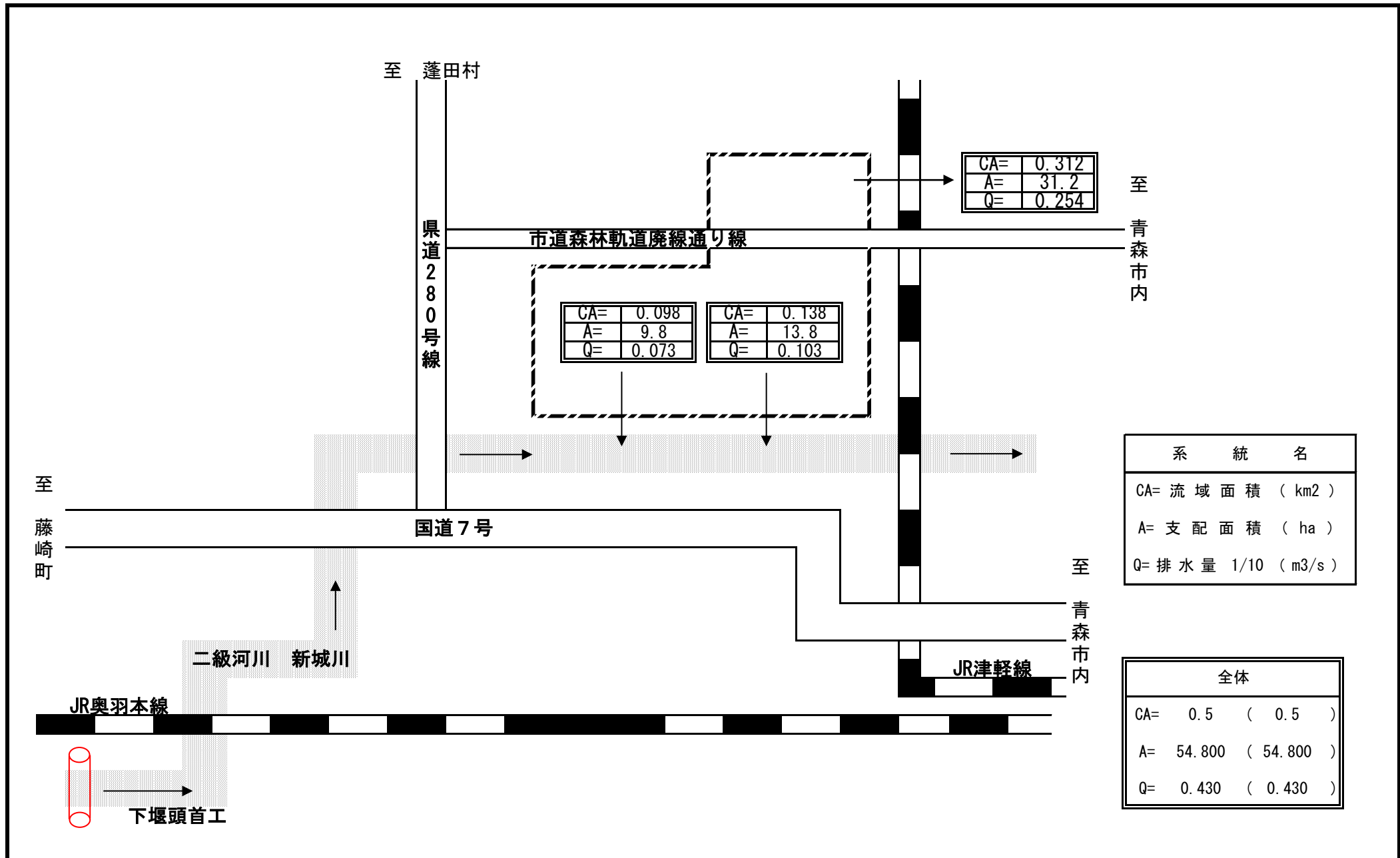
(第 11 表 - 4)

項目 名称	流域面積 (km ²)	受益面積 (ha)	計画排水量 (m ³ /s)	延長 (m)	構造	排水本川			備考
						名称	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	
支線排水路	0.155~0.3	25.9	0.070~0.331	649	コンクリート直壁型	既設排水路	-	-	
小排水路	0.08~0.158	0.1~12.9	0.003~0.071	3,349	高密度ポリエチレン管	新城川	-	-	
計	0.548	54.8		3,998					

- (4) その他 該当なし

6. たん水検討 該当なし

計画排水系統模式図



系 統 名
CA= 流域面積 (km2)
A= 支配面積 (ha)
Q= 排水量 1/10 (m3/s)

全体
CA= 0.5 (0.5)
A= 54.800 (54.800)
Q= 0.430 (0.430)

第 5 節 道路計画

1. 道 路

(第 1 2 表)

項 目 路線名	幅 (有効) (m)	延 長 (m)	構 造	既 設 道 路 と の 関 係	備 考
支道 I 型	5.0(4.0)	4,893	碎石舗装 (敷砂利厚 t=15cm)	地区外既設道路へ接続	
支道 II 型	4.0(3.0)	2,751	碎石舗装 (敷砂利厚 t=15cm)	地区外既設道路へ接続	
計		7,644			

2. 路線配置図



第 6 節 洪水調節計画

- | | |
|------------------------|------|
| 1. 計画基準雨量 | 該当なし |
| 2. 計画洪水量及び調節量 | 該当なし |
| 3. 貯水池 | 該当なし |
| 4. 洪水調節検討 | |
| (1) 河川改修計画との関係 | 該当なし |
| (2) 洪水調整が下流に及ぼす影響 | 該当なし |
| (3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討 | 該当なし |
| 5. 管理計画 | |
| (1) 管理機構 | 該当なし |
| (2) ダム管理操作上の各種基準 | 該当なし |
| (3) 洪水調節要領 | 該当なし |

第 7 節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画の形状

(第14表-1)

長辺 × 短辺 (m)	区画面積 (a)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備 考
標準区 100×100	100 以上	19.5	43.4	2.0 以下	
標準区 100×50	50 以上	25.1	55.9	2.0 以下	
端田区 20×10	-	0.3	0.7	2.0 以下	
計		44.9	100.0		

(2) 表土扱い

(第14表-2)

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土 量 (m ³)	備 考
45.4	本地区は表土が少なく、表土扱いをしない整地工事では、作物生産に支障を来たすため、表土扱いを行う。	15	68,100	

(3) 末端道水路配置図

末端道水路配置図 (P.26 参照)

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第14表-3-1)

項目 区分	面積 (ha)	土壌統(区)名	基準雨量 (mm/day)	単位排水量 (L/s/ha)	計画後の地下水位 (m)	集水渠出口 以下の排水方法	備 考
本暗渠	45.4	灰褐色土壌壤土型	114.1	5.8	0.50	自然排水	地表残留水(50mm)排除の目標日数 1日
		強グライ土壌砂土還元型	114.1	5.8	0.50	自然排水	地表残留水(50mm)排除の目標日数 1日
		強グライ土壌強粘土還元型	114.1	5.8	0.50	自然排水	地表残留水(50mm)排除の目標日数 1日
計	45.4						

(2) 心土破碎

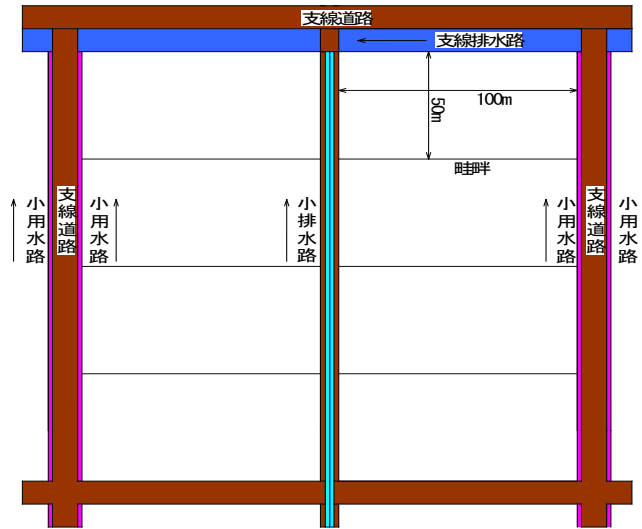
該当なし

- 3. 客 土 該当なし
- 4. 農地保全
 - (1) 防災林 該当なし
 - (2) 排水工 該当なし
 - (3) 浸食（崩壊）防止工 該当なし

第 8 節 老朽ため池改修計画

- 1. 洪水吐改修計画
 - (1) 計画基準雨量 該当なし
 - (2) 計画洪水量 該当なし
- 2. 堤体補強計画 該当なし
- 3. 取水施設改修計画 該当なし

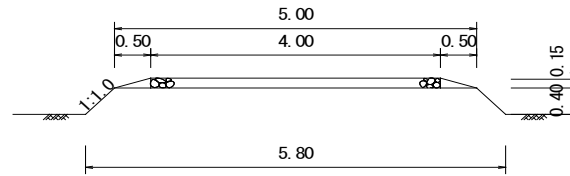
標準区画割図



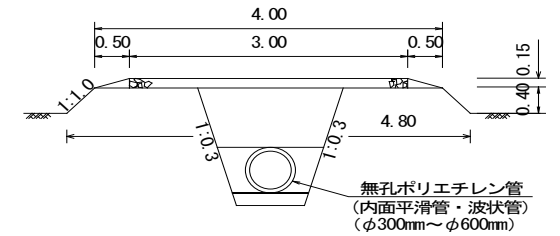
主要構造図

scale : Free

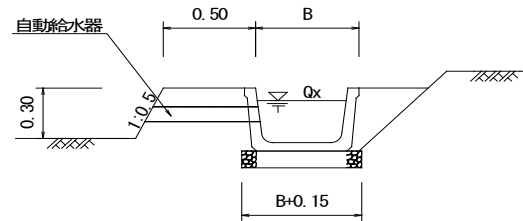
支線道路 (I型)



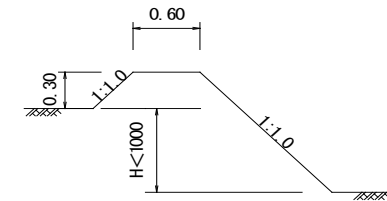
支線道路 (II型) ・小排水路



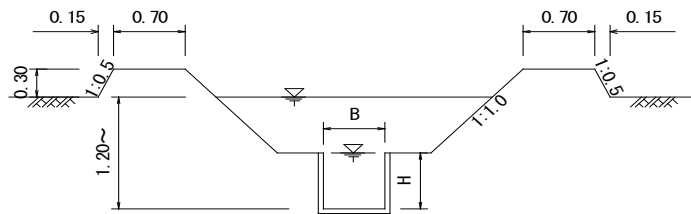
小用水路



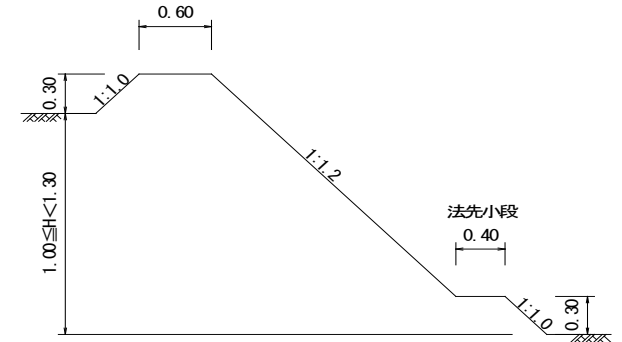
畦畔工 (I型)



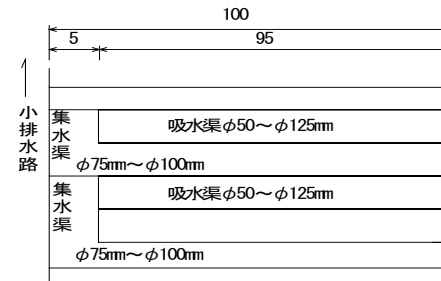
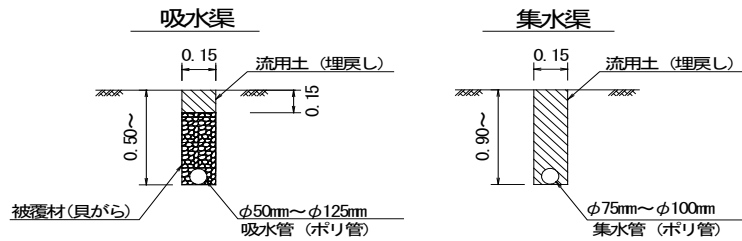
支線排水路



畦畔工 (II型)



暗渠排水工



第 5 章 主要工事計画

第 1 節 用水施設

- 1. 貯水池 該当なし
- 2. 頭首工 該当なし
- 3. 揚水機 該当なし
- 4. 用水路 該当なし

第 2 節 排水施設

- 1. 排水水門 該当なし
- 2. 排水機 該当なし
- 3. 排水路 該当なし
- 4. その他排水施設 該当なし

第 3 節 道路

- 1. 道路の総括表 該当なし
- 2. 道路主要構造物 該当なし

第 4 節 洪水調節施設

- 1. 貯水池 該当なし
- 2. 頭首工及び導水路
 - (1) 頭首工 該当なし
 - (2) 導水路 該当なし

第 5 節 農用地整備施設

1. 区画整理

(第19表-1)

工 区 名	面 積 (ha)	整 地 工		表 土 扱 い		備 考
		区 画	土量(m ³)	面積(ha)	土量(m ³)	
標準区 100×100	19.5	1.0ha以上	-	19.5	29,250	
標準区 100×50	25.1	0.5ha以上	-	25.1	37,650	
端田区 20×10	0.3	0.2ha未満	-	0.3	450	
計	44.9		-	44.9	67,350	

(附帯工：用水路等)

区 分 \ 項 目	数 量	規 模	構 造	備 考
支用水路	L=821m	BF550～BF650	コンクリート直壁型	
小用水路	L=5,708m	BF400～BF600	コンクリート直壁型	

(附帯工：排水路等)

区 分 \ 項 目	数 量	規 模	構 造	備 考
支排水路	L=6489m	HF400×400 HF700×700	コンクリート直壁型	
小排水路	L=3,349m	HDPE φ 300～φ 600	パイプライン	

(附帯工：道路等)

区 分 \ 項 目	数 量	規 模	構 造	備 考
支道Ⅰ型	L=4,893m	幅員5.0m (4.0m)	砂利舗装 (敷砂利厚 t=15cm)	
支道Ⅱ型	L=2,751m	幅員4.0m (3.0m)	砂利舗装 (敷砂利厚 t=15cm)	

(附帯工：暗渠排水等)

区 分 \ 項 目	数 量	規 模	構 造	備 考
本暗渠	A=45.4ha	吸水管 φ 50～φ 125mm 集水管 φ 75～φ 100mm	硬質ポリ管	

2.	暗渠排水	
	(1)暗渠排水	該当なし
	(2)心土破碎	該当なし
3.	客土	該当なし
4.	除礫	該当なし
5.	農地保全	
	(1)防災林	該当なし
	(2)排水路	該当なし
	(3)浸食防止工	該当なし
第6節	老朽ため池改修施設	
1.	貯水池	該当なし
2.	堤体補強施設	
	(1)法面保護施設	該当なし
	(2)漏水防止工	該当なし
第6章	附帯工事計画	該当なし
第7章	工事の着手及び完了の予定時期	
	着手	令和8年度
	完了	令和14年度
第8章	環境との調和への配慮	

事業の実施に当たっては、工事中、貴重な動植物を発見した場合は、近くに移動又は移植し保護する。また、水路の一部に生態系に配慮した区間を設け、水生生物の棲み処となる場所を確保するとともに、小動物等が転落した際に脱出が可能となるよう脱出用スロープを設置する。

第 9 章 換地計画の概要

第 1 節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

各農家への配分は、換地選定を機会に利用権等の集積に関する啓発普及を進め、中核的担い手農家への農地の利用集積を図るものとする。

第 2 節 換地区の設定

1. 換地区の名称・所在・面積

(第21表-1)

換地区名	換地区の所在	面積 (ha)
全工区	青森市大字油川字岡田、字実法、字千刈、字柳川、大字新城字福田、大字新田字忍	54.6

2. 換地区を設定する理由

該当なし

第 3 節 換地計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積の基準

(第21表-2)

換地区名	換地の基準
全工区	換地交付の基準とする従前の土地の地積は、国土調査法による地籍調査に基づく登記が完了している土地にあつては、土地改良事業計画決定の日の登記簿地積(ただし、上記の日から3ヶ月以内に測量士、測量士補又は土地家屋調査士の測量した実測図及び隣接所有者の同意書を添付して申出があつた場合は、その申出のあつた地積とする。)とし、これ以外の土地にあつては、事業主体の行う実測による地積とする。

2. 用途別予定地積

(単位:ha) (第21表-3)

換地区名	用途 (取得予定者) 前後	非農用地区域外に換地する土地										非農用地区域に換地する土地						機能交換に係る土地				一般 国 公 有 地	総 合 計							
		田	畑	山 林 ・ 原 野	そ の 他	通常事業施行 地域の含める 土地(令第1条 の9()書き)			本事業によっ て生ずる 土地改良 施設用地			創 設 農 用 地	合 計	特定用途用地			異 種 目 換 地	創 設 非 農 用 地						合 計	国	県	市 町 村 他	合 計		
						土 地 改 良 施 設	そ の 他	小 計	改 良 区	そ の 他	小 計			宅 地	そ の 他	小 計		農 業 経 理 化 施 設 用 地	生 活 上 ・ 経 営 上 必 要 な 施 設 用 地	公 用 ・ 公 用 施 設 用 地	宅 地 等								小 計	
全工区	従前の土地	47.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	47.3	-	0.6	0.6	-	-	-	-	-	-	-	0.6	0.1	-	6.6	6.7	-	54.6
	換地	44.9	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	45.4	-	0.6	0.6	-	-	-	-	-	-	-	0.6	0.1	-	8.5	8.6	-	54.6

3. 農用地集団化の方針

(第21表-4)

換地区名	区分 地帯別、グループ別 団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	1戸当たり目標団地数	区画畦畔の取扱い
全工区	なし	換地は各人の土地が最も密集した位置を中心に、土地利用条件等を考慮して定める。	概ね1~2団地	固定畦畔

4. 非農用地換地の手法

(第21表-5)

換地区名	区分	用途	非農用地区域の位置の概略	面積 (㎡)	換地の手法	換地取得予定者	その他
全工区		原野	概ね従前どおり	2,427	特定用途用地換地	従前の土地所有者	-
		雑種地	概ね従前どおり	3,732	同上	同上	-

第 4 節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法 項目別配点方式
 土地の良否、用排水の便否の項目別の条件差により設定した評価表を用い、従前の土地と換地を一筆毎に採点する。
 この合計得点数からその土地を等位付けし、その等位毎に価額を評定する。

2. 清算の方法 比例地積清算方式
 従前の土地の評価総額と換地の価額総額との差額(増価額)を従前の土地の地積に比例して、各従前の土地に按分し、この按分額を従前の土地の価額と合計して換地交付基準額を定め、これと換地の価額との差額を徴収、交付する。

第 5 節 換地計画樹立の年度計画

(第21表-6)

区 分 換地区名	一時利用地の指定予定年度	換地計画の決定予定年度	換地処分予定年度	備 考
全 工 区	令和9年度～令和11年度	令和14年度	令和14年度	—

第 6 節 換地処分の時期に関する特則

本地区は、地区全体について区画整理工事が完了し、確定測量が行われたときは、土地改良法第89条の2第10項において準用する同法第54条第2項ただし書きの規定に基づき、換地処分を行うことができる。

第 10 章 事業費の総額及び内訳

(第 2 表)

区 分		事 業 費 (千円)	備 考
工 事 費		1,457,000	令和 7 年度単価
事 務 的 経 費		72,850	
計		1,529,850	
関 連 事 業 (参 考)			該当なし
	計		

第 11 章 効 用

(第 2 表)

区 分	項 目	年 総 効 果 額 (千円)	年 増 加 農 業 所 得 額 (千円)	備 考
	作 物 生 産 効 果	22,638	8,826	食料の安定供給の確保に関する効果
	営 農 経 費 節 減 効 果	63,087	70,813	食料の安定供給の確保に関する効果
	維 持 管 理 費 節 減 効 果	6,239	19,538	食料の安定供給の確保に関する効果
	耕 作 放 棄 防 止 効 果	5	—	農業の持続的発展に関する効果
	地 積 確 定 効 果	14	—	農村の振興に関する効果
	国 産 農 産 物 安 定 供 給 効 果	6,831	—	その他の効果
	計	98,814	99,177	令和 7 年度単価

<参考>

総 費 用 : 1,453,456 千円
 総 便 益 額 : 1,776,663 千円
 総費用総便益比 : 1.22

第 12 章 関連する事業 該当なし

第 13 章 現況・計画図面

- 1. 現況平面図 別 添
- 2. 計画平面図及び土地利用計画図 //
- 3. 主要構造図 //

令和8年度新規採択希望 経営体育成基盤整備事業

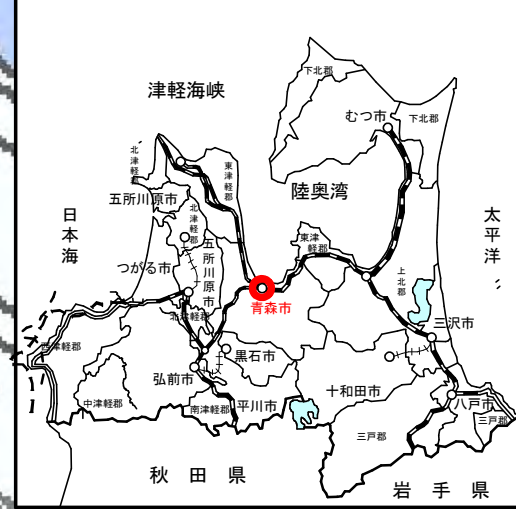
青森県 油川地区 現況平面図

縮尺 1 : 25,000



凡 例	
色 別	項 目
	受益地

図面の名称	図面番号
現況平面図	1
縮尺	S=1:25000
事業名	油川地区 経営体育成基盤整備事業
地区名	青森市油川地区ほか
路線名等	
業務名	東農局農水(整委)第15号
青森県東青農林水産事務所	



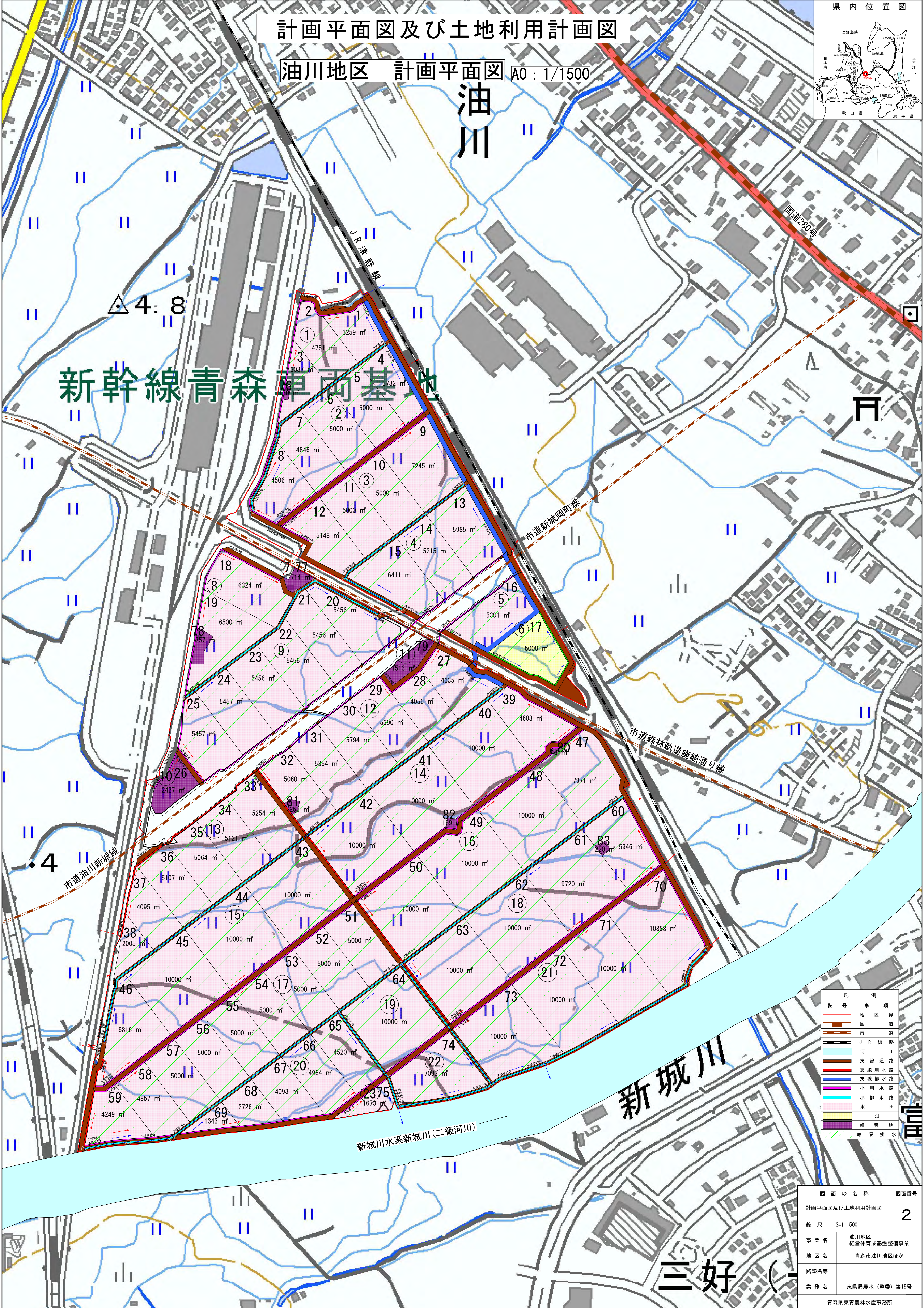
計画平面図及び土地利用計画図

油川地区 計画平面図 A0 : 1/1500

油川

新幹線青森車両基地

△ 4: 8

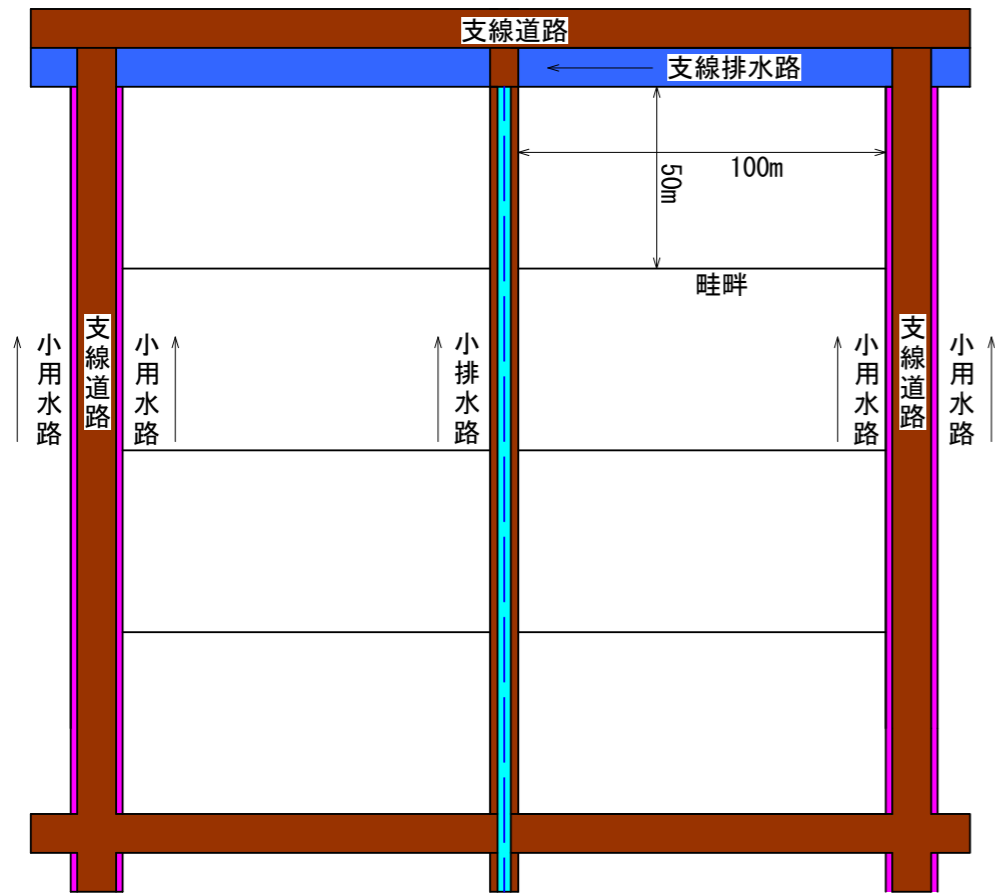


凡 例	
	地区界
	国道
	市道
	J R 線路
	河川
	支線道路
	支線用水路
	支線排水路
	小用水路
	小排水路
	水
	畑
	雑種地
	暗渠排水

図面の名称	図面番号
計画平面図及び土地利用計画図	2
縮尺	S=1:1500
事業名	油川地区 経営体育成基盤整備事業
地区名	青森市油川地区ほか
路線名等	東奥局農水(整委)第15号
業務名	青森県東青農林水産事務所

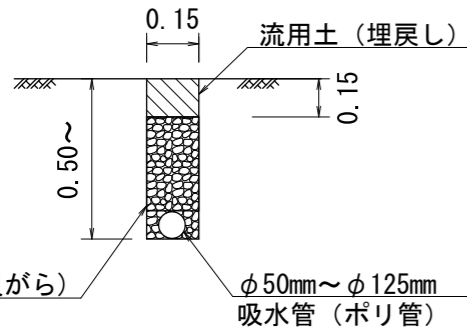
三好

標準区画割図

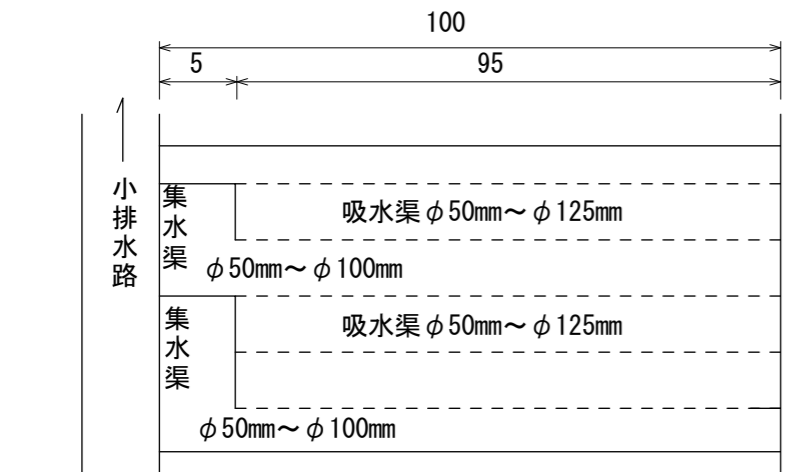
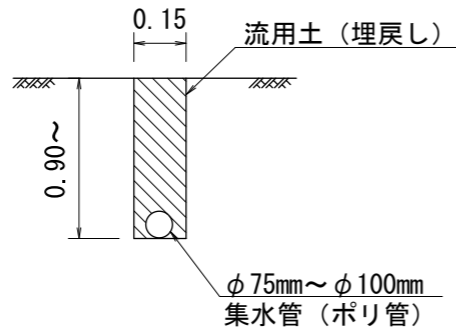


暗渠排水工

吸水渠



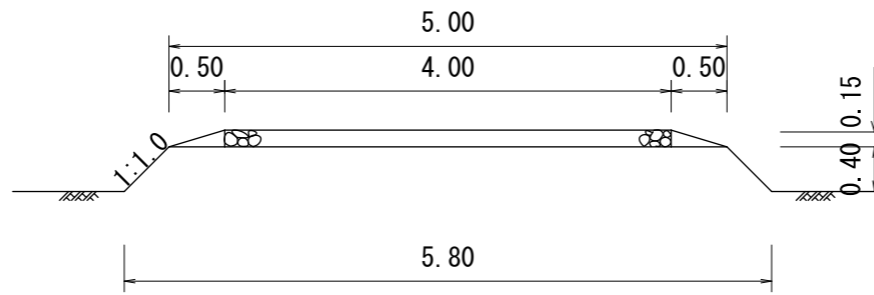
集水渠



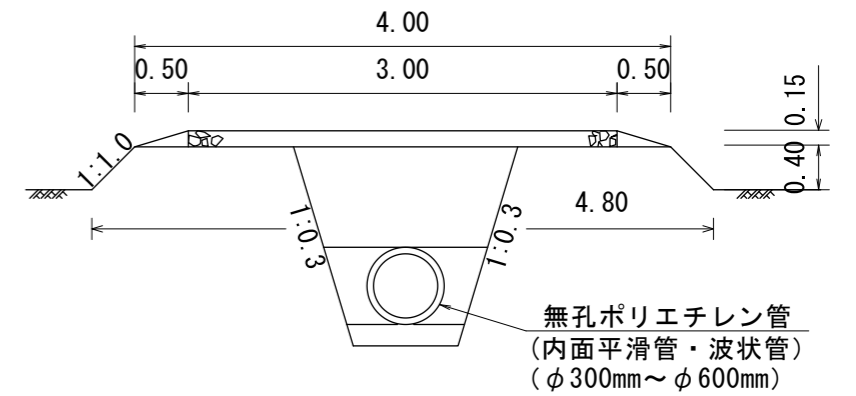
主要構造図

scale : Free

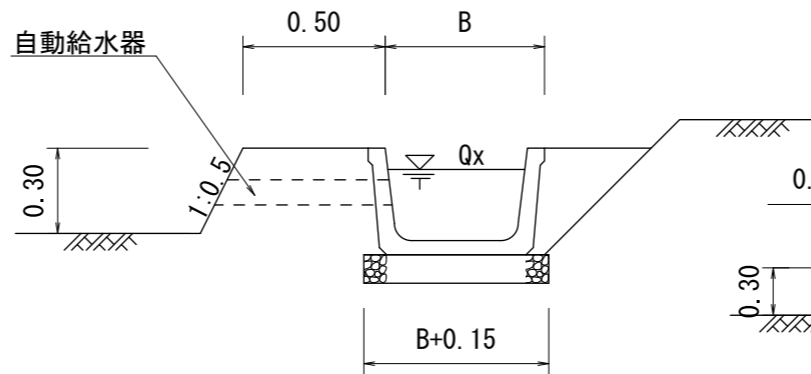
支線道路 (I型)



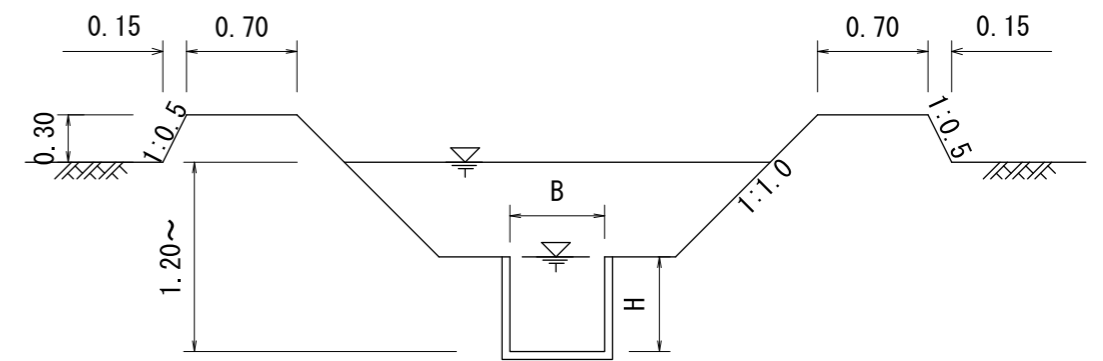
支線道路 (II型) ・小排水路



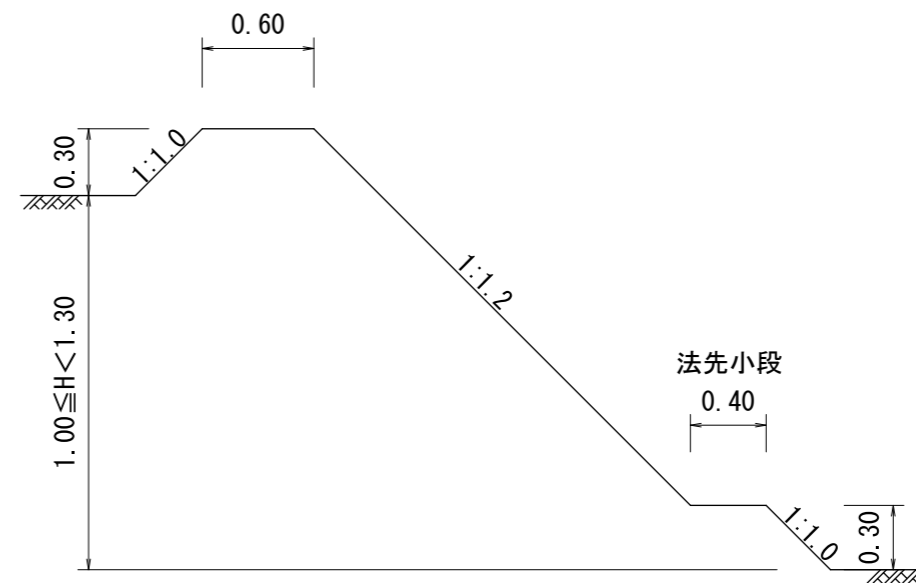
小用水路



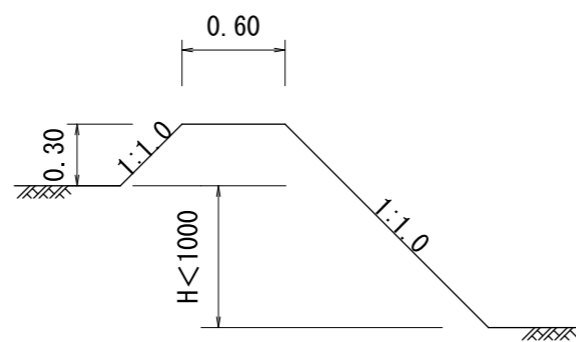
支線排水路



畦畔工 (II型)



畦畔工 (I型)



図面の名称		図面番号
主要構造図		3
縮尺 S= No scale		
事業名	油川地区 経営体育成基盤整備事業	
地区名	青森市油川地区ほか	
路線名等		
業務名	東農局農水(整委)第15号	
青森県東青農林水産事務所		